

毎月配当株式ポートフォリオ



NTTデータ経営研究所 取締役会長
宮野谷 篤

はじめに

私は昨年還暦を迎えた。「貯蓄から投資へ」は高齢化が進む日本の重要課題である。わが国における株式保有世帯数の比率をみると、20～40歳代は15%前後、50歳以上でも20%強にすぎない。以下では、「投資の動機付け」、「投資銘柄の選択」というプラクティカルな視点から、投資促進策を考える。

株式投資の実務的ハードル

「日本人の投資姿勢は保守的」と言われるが、FX投資やワンルームマンション投資などは活発だ。日本で株式投資の裾野が広がらない一因は、「選択肢が多過ぎて選べない」ことだと思う。行動科学では、選択肢が多過ぎる場合、人間は選択を回避するか、経験を持つ他人に選択を依存する傾向があるとされる。東証一部上場企業だけで2千超、投信は約6千種類もある。これでは株式・投信投資を断念するか、業者任せにするのも無理はない。スマホが普及した今日、ITも活用して選択肢を簡素化し、「個人の投資選択を助けるツール」を提供することが必要だ。ただし、便利なツールがあっても、明確な投資動機がないと配当／成長重視などの選択ができない。

個人が株式・投信投資を行う動機は様々であるが、年齢を重ねるにつ